

平成10年6月 1日

加藤豊島区長、豊島区議会

パキスタンの地下核実験に対し、

シャリフ首相へ厳重抗議。

1日、加藤・敏豊島区長は、パキスタンが5月30日午前11時55分（日本時間同日午後3時55分）、西部バルチスタン州チャガイで再度の地下核実験を実施したことに対して、ムハンマド・ナワズ・シャリフ首相に抗議文を送付した（抗議文は別紙のとおり）。

なお、豊島区長は、同国の1回目の地下核実験に対して、5月29日に厳重抗議を行っている。

また同日、豊島区議会（議長 鈴木健三郎）は、パキスタンの5月28日および5月30日の核実験に対して、ムハンマド・ナワズ・シャリフ首相に抗議するとともに、核開発を停止するよう要請した（要請書は別紙のとおり）。

問い合わせ先 総務課長

区議会事務局次長



1998年 6月 1日

パキスタン・イスラム共和国

首相 ムハンマド・ナワズ・シャリフ 閣下

国際世論の激しい非難と抗議の声を全く無視して、5月30日、貴国が再び地下核実験を強行したことは、恒久平和を願う私たち人類への重大な背信行為であり、極めて危険で余りにも愚かな行為といわざるを得ず、再度強く抗議いたします。

今回の2度にわたる6回の核実験は、いかなる理由があれ正当化できるものではなく、核兵器の廃絶をめざす私たちの願いに全く逆行し、断じて容認できない暴挙であります。

私は、閣下が直ちに貴国のすべての核兵器を放棄し、核開発、核実験を中止され、世界平和の実現に向けて努力されるよう、再度要請いたします。

日本国

東京都豊島区長 加 藤 一 敏

パキスタンの核実験に抗議するとともに、核開発の停止を求める要請書

貴国は、五月二十八日、西部バルチスタン州チャガイ丘陵で五回の地下核実験を強行し、また五月三十日には、世界各国の再三の自制要請にもかかわらず、再度強行しました。

インドの核実験に対する世界的非難の中、さらには貴国による核実験が懸念される中でのこの行為は、核実験の禁止、核兵器の廃絶を求める世界諸国の願いを真っ向から踏みにじるものであります。

貴国は「インドの核実験への対抗措置である」として今回の核実験を行いました。が、世界的核実験禁止の流れに逆行してこのような実験を行ったことは極めて遺憾であります。

核兵器を廃絶し、平和な世界を実現することは、人類共通の願いであります。都内二十三区で最初に非核都市宣言を行い、核兵器の廃絶を目指す豊島区民にとって、核実験と核兵器の保有は断じて認められない行為であります。

よって、豊島区議会は、閣下に対し、この度の核実験の実施に抗議するとともに、核開発を停止するよう強く要請いたします。

平成十年六月一日

東京都豊島区議会議長 鈴木 健三郎

パキスタン・イスラム共和国首相

ムハンマド・ナワズ・シャリフ 閣下